

2026年6月10日

## 待遇面よりも仕事の魅力や堅実性・安定性を重視 ～2026年度新入社員意識調査～

本調査は、新入社員の意識を把握するため、当研究所が開催した県内企業を対象とした新入社員研修に参加いただいた皆様約580名を対象に実施した。

### 👉 調査結果のポイント

1. 長野県内に就職した理由
    - ・ 「住環境が良い」が63.5%と最も多く、次いで「希望する職場があった」が35.6%などとなった。
  2. 就職した会社を初めて知ったきっかけ
    - ・ 「地元であり、もともと知っていた」が24.1%と最も多く、次いで「学校の先生や就職課からの紹介」が19.4%などとなった。
  3. 会社の選定で重視したこと
    - ・ 「仕事に魅力がある」が50.9%と最も多く、次いで「堅実性・安定性」が36.7%などとなった。
  4. 就職活動時に会社からもっと情報発信して欲しかったこと
    - ・ 「具体的な仕事内容」が41.2%と最も多く、次いで「会社の雰囲気」が30.0%などとなった。
  5. 先輩・上司に求めること
    - ・ 「いつでも相談できる雰囲気がある」が77.0%と最も多く、次いで「積極的にコミュニケーションをとってくれる」が57.0%などとなった。
  6. 仕事をしていく上で大切にしたいこと
    - ・ 「やりがい・充実感を得る」が57.7%と最も多く、次いで「楽しく仕事をする」が44.6%などとなった。
  7. 今の会社でいつまで働きたいか
    - ・ 「分からない」が38.7%となる一方、「定年まで」が36.7%などとなった。
- 今の会社を選定した理由は、「仕事に魅力がある」が最多で、次いで「堅実性・安定性」だった。また、今の会社でいつまで働きたいかは、前回（2025年）調査に比べ「分からない」が11.1ポイント減少の38.7%となった一方、「定年まで」が36.7%と8.6ポイント上回った。会社選定理由や今後のキャリア形成の意向などから、今年の新入社員の意識は、仕事の魅力や堅実性・安定性を重視する姿が浮かび上がった。

<お問い合わせ先>

一般財団法人 長野経済研究所 電話：026-224-0501

担当：調査部 主任研究員 須田 浩路

## 「新入社員意識調査」アンケート実施概要

調査時期： 2026年4月1日～10日

調査対象： 当研究所「新入社員研修」参加者

対象者数： 577名

回答属性： 444名（回答率76.9%）

調査方法： 無記名Webアンケート方式

回答者の構成は以下のとおり

		人数	構成比 (%)
合計		444	100.0
高校卒業時点の 居住地	県内	375	84.5
	県外	69	15.5
性別	男	251	56.5
	女	180	40.5
	無回答	13	2.9
従業員数	300人以下	331	74.5
	300人超	94	21.2
	分からない	19	4.3
最終学歴	中学・高校卒	147	33.1
	専門学校・短大・高専卒	99	22.3
	大学・大学院卒	198	44.6
業種	建設業	66	14.9
	製造業	176	39.6
	卸小売業	42	9.5
	サービス業	152	34.2
	その他	8	1.8

※ 四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

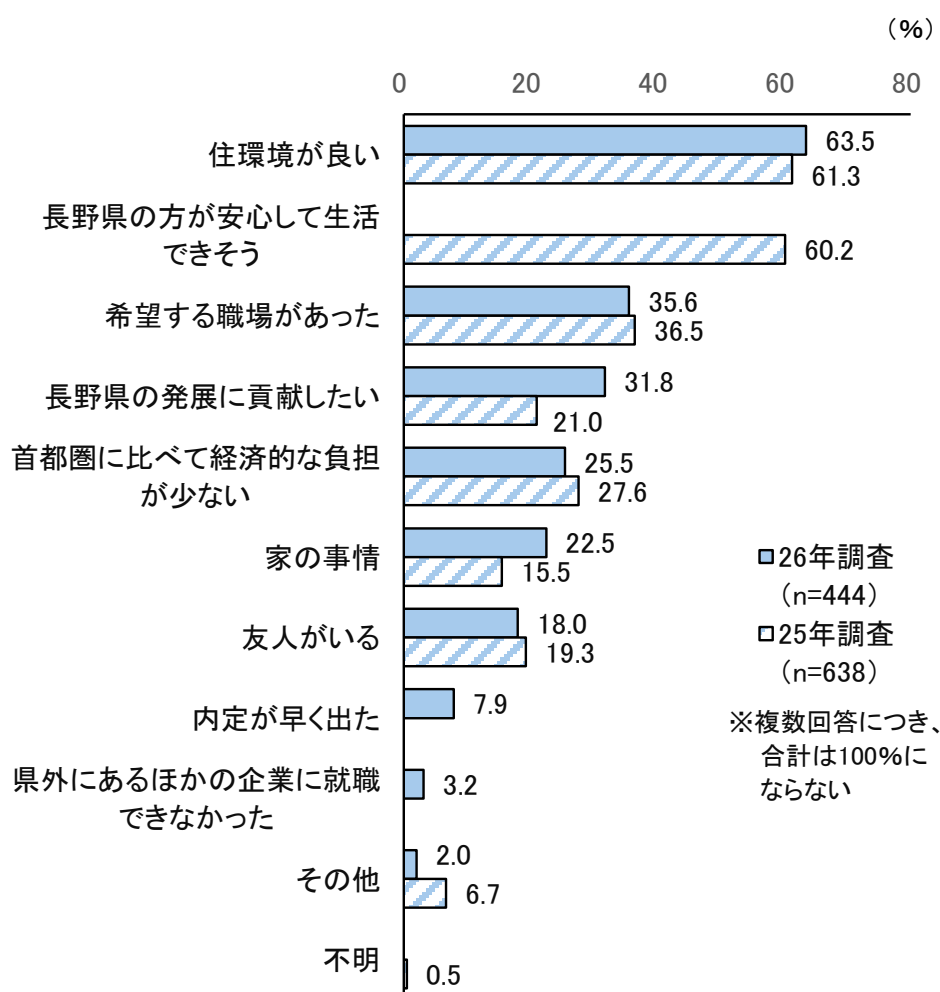
詳細は、当研究所機関誌「経済月報6月号」のトピックスをご覧ください。

## 1. 長野県内に就職した理由

### ◆「住環境が良い」が6割となった

- 長野県内に就職した理由\*について尋ねると、図表1のように、「住環境が良い」が63.5%と最も多く、次いで「希望する職場があった」が35.6%、「長野県の発展に貢献したい」が31.8%などとなり、長野県の暮らしやすい環境を優先する割合が多かった。
- 前回調査と比較すると、「住環境が良い」が引き続き最も多く、また、「長野県の発展に貢献したい」は10.8ポイント増加した。

図表1 長野県に就職した理由（3つまで選択）



※当研究所が開催した新入社員研修への参加企業が、全て長野県に拠点のある企業であるため、県外企業への就職者を含めると結果が変わる可能性があることに注意を要する

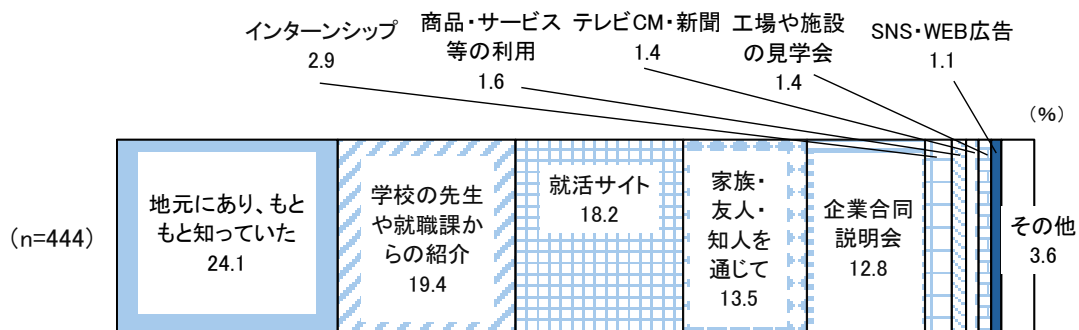
※「長野県の方が安心して生活できそう」は25年のみ、「内定が早く出た」「県外にあるほかの企業に就職できなかった」は26年のみ実施

## 2. 就職した会社を初めて知ったきっかけ

### ◆ 「地元であり、もともと知っていた」が24.1%で最多となった

- ・ 就職した会社を初めて知ったきっかけについて尋ねると、**図表2**のように、「地元であり、もともと知っていた」が24.1%と最も多く、次いで「学校の先生や就職課からの紹介」が19.4%、「就活サイト」が18.2%などとなった。
- ・ 学校からの紹介や就活サイト、合同説明会、インターンシップにより知ったという回答割合は53.3%と半数を超え、2人に1人は就職活動を通じてその企業を初めて知ったという結果となった。

図表2 就職した会社を初めて知ったきっかけ

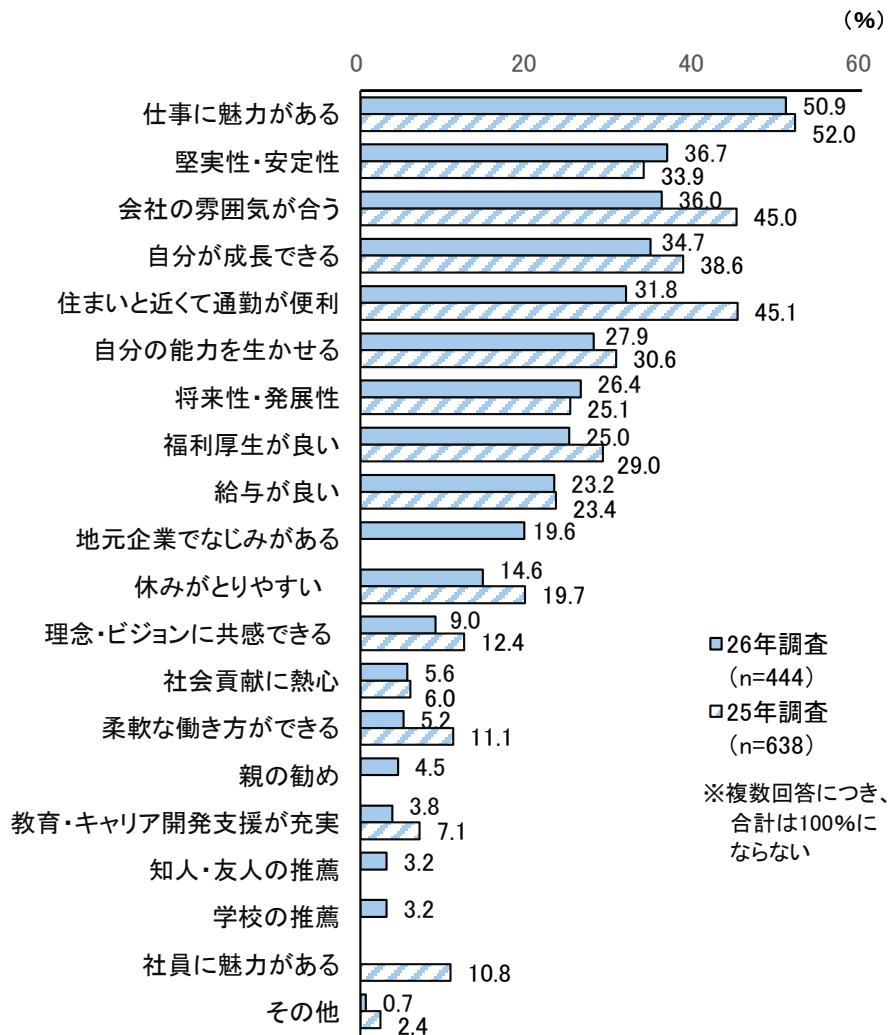


### 3. 会社の選定で重視したこと

#### ◆ 「仕事の魅力」が50.9%と最も多く、次いで「堅実性・安定性」となった

- ・ 会社を選定するに当たり何を重視したかは、**図表3**のように、「仕事に魅力がある」が50.9%と最も多く、次いで「堅実性・安定性」が36.7%、「会社の雰囲気合う」が36.0%などとなった。
- ・ 一方、「給与が良い」は23.2%となったほか、「休みがとりやすい」は14.6%などと低位にとどまり、待遇面よりも、仕事の魅力や企業経営の安定性を重視して選定している姿が浮き彫りになった。
- ・ 前回調査と比べると、「堅実性・安定性」は5番目から2番目に順位を上げた。

図表3 会社の選定で重視したこと（5つまで選択）



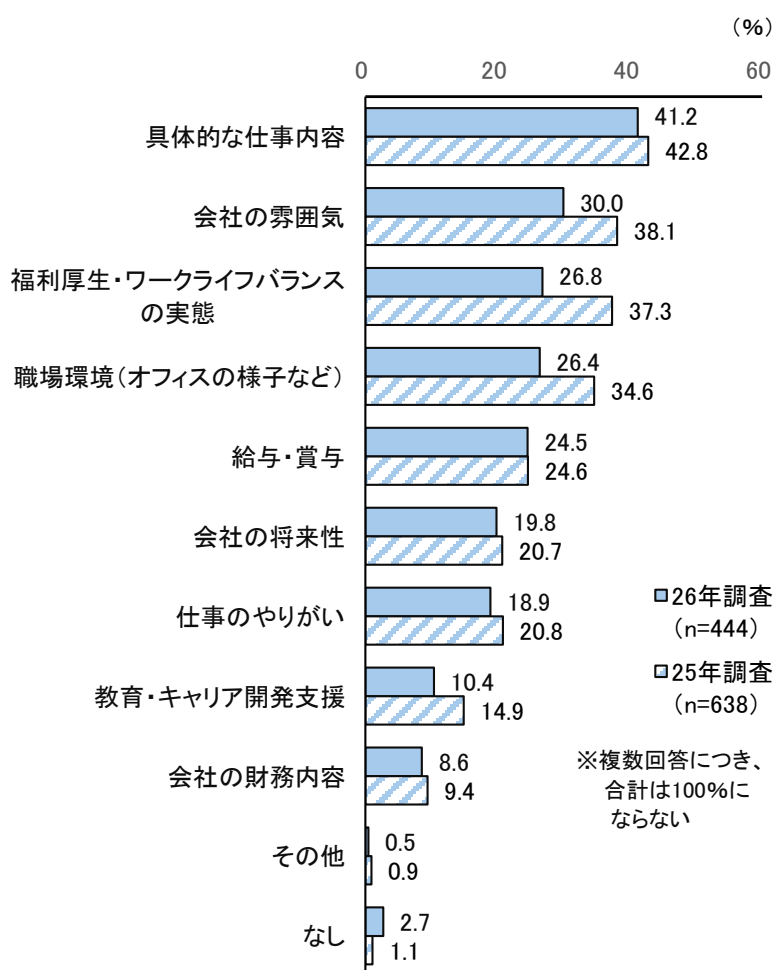
※ 「社員に魅力がある」は25年のみ、「地元企業でなじみがある」「親の勧め」「知人・友人の推薦」「学校の推薦」は26年のみ実施

#### 4. 就職活動時に会社からもっと情報発信して欲しかったこと

##### ◆ 「具体的な仕事の内容」が前回に引き続き4割超となった

- ・ 就職全般を通じて、企業からもっと情報発信をして欲しかったことは、**図表4**のとおり、「具体的な仕事内容」が41.2%と最も多く、次いで「会社の雰囲気」が30.0%となった。また、「福利厚生・ワークライフバランスの実態」は26.8%、「職場環境（オフィスの様子など）」は26.4%、「給与・賞与」は24.5%などとなり、待遇や職場環境に関する項目は3割に届かなかった。
- ・ 前回調査と比べると、上位5項目の順位は同じだった。

図表4 就職活動時にもっと会社から情報発信して欲しかったこと（3つまで選択）

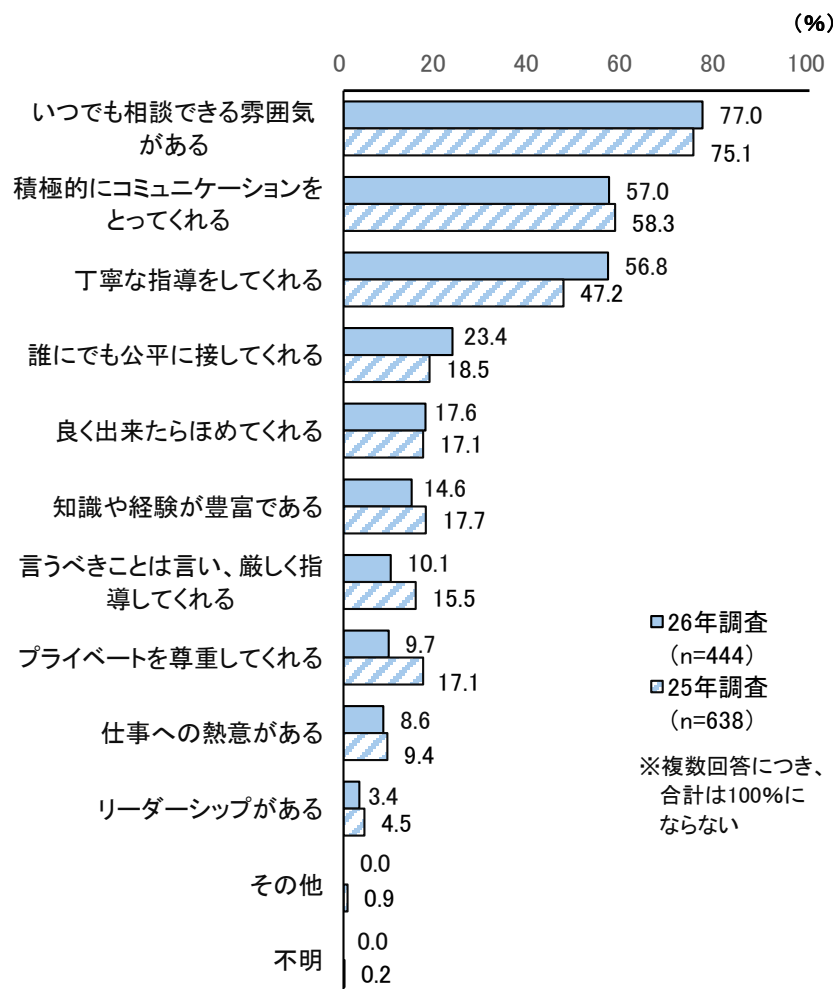


## 5. 先輩・上司に求めること

### ◆「いつでも相談できる雰囲気」が77.0%となった

- 先輩・上司に求めることについて尋ねたところ、**図表5**のように、「いつでも相談できる雰囲気がある」が77.0%と最も多く、次いで「積極的にコミュニケーションをとってくれる」が57.0%、「丁寧な指導をしてくれる」が56.8%などとなった。
- 前回調査と比べると、「丁寧な指導をしてくれる」の割合が、9.6ポイント増加した。

図表5 先輩・上司に求めること（3つまで選択）

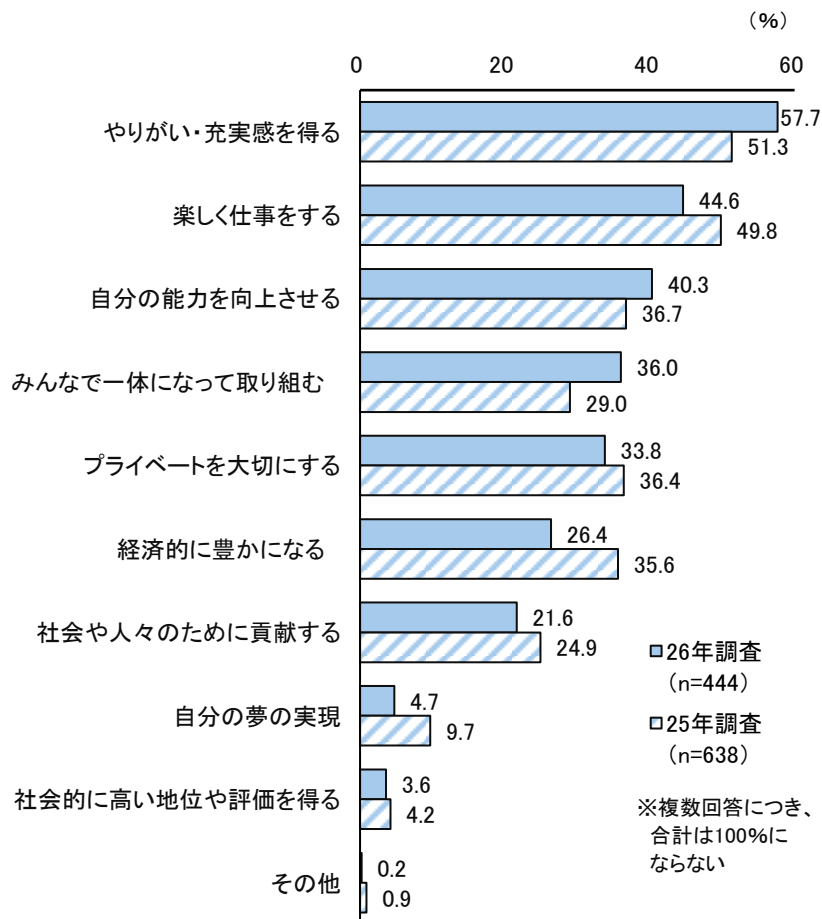


## 6. 仕事をしていく上で大切にしたいこと

### ◆ 「やりがい・充実感」「楽しさ」が上位を占めた

- ・ 仕事をしていく上で大切にしたいことは、**図表6**のように、「やりがい・充実感を得る」が57.7%と最も多く、次いで「楽しく仕事をする」が44.6%、「自分の能力を向上させる」が40.3%などとなった。
- ・ 前回調査と比べると、「みんなで一体になって取り組む」が7.0ポイント増加し、「プライベートを大切にする」を上回った。一方で、「経済的に豊かになる」は9.2ポイント減少した。収入への関心が低下した一方、職場における協働や一体感を重視する傾向が強まった。

図表6 仕事をしていく上で大切にしたいこと（3つまで選択）

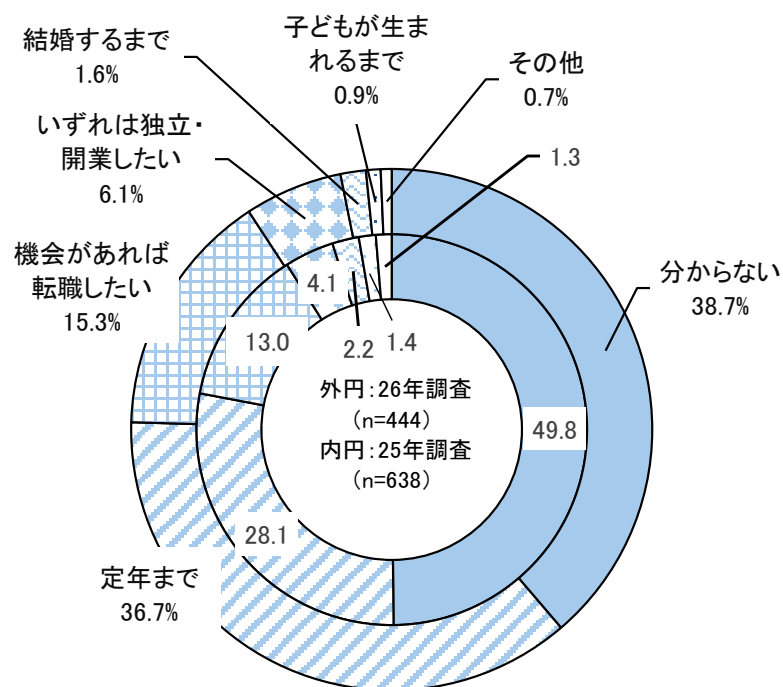


## 7. 今の会社でいつまで働きたいか

### ◆ 「定年まで」働きたい割合は前回調査と比べ 8.6 ポイント増加した

- ・ 今の会社でいつまで働きたいか尋ねると、**図表7**のように、「分からない」が 38.7%と最も多く、次いで「定年まで」が 36.7%、「機会があれば転職したい」が 15.3%などとなった。
- ・ 前回調査と比較すると、「分からない」が 11.1 ポイント減少する一方、「定年まで」が 8.6 ポイント増加した。

図表7 今の会社でいつまで働きたいか



以上